

市の宣言
 ◇男女平等参画都市宣言
 ◇非核平和都市宣言
 ◇青少年健全育成都市宣言
 ◇交通安全都市宣言

発行・町田市 編集・政策経営部広報広聴課広報係
 〒194-8520 東京都町田市市中町1-20-23
 市役所の代表電話042・722・3111
 町田市コールセンター ☎042・724・5656
 ☎042・724・5600
 発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)
 ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp/>

今号の紙面から

- 2面**
 パブリックコメント
 ○町田市スポーツ振興計画(案)
 ○町田市福祉のまちづくり総合推進条例の改正(案)
- 3面**
 健康メモ
 インフルエンザ感染予防



大勢の聴衆の前でパネルディスカッション
 テーマに、町田市・八王子市・相模原市の3市の市長によるパネルディスカッションが行われ、3市の産業や文化に関する今後の連携について、活発な話し合いがなされました。
 企画政策課 724・2103

シンポジウムでは、基調講演として、PHP総合研究所 地域資源を活用した3市共同プロモーションの展開戦略」が行われました。続いて、「繋がる広がる都

「絹の道」を通じて発展した、町田市・八王子市・相模原市。3市が市域を越えて連携することで、地域の今後の可能性を探る「八王子・町田・相模原 都市間連携シンポジウム『繋がる広がる都市のかたち』」が、9月6日(日)に南大沢文化会館交流ホール(八王子市)で開催されました。

八王子 町田 相模原
都市間連携
シンポジウムを
開催しました

家具転倒防止器具支給
二次募集を行います

○対象 市内に住居登録または外国人登録のある世帯
 ※65歳以上の方のみの世帯や障がいをお持ちの方がいる世帯等については、支給する器具の取り付けも行っています。
 器具の種類や個数、申込方法など詳細は、防災安全課家具転倒防止普及担当(☎724・3218)へお問合せ下さい。
 ※既にこの事業による器具支給を受けている方は申し込めません。

秋の全国交通安全運動 ~やさしさが走るこの街この道路~
 9月21日(祝)~30日(水)

- 【運動の基本】**
 高齢者の交通事故防止
 6月1日から75歳以上のドライバーは、免許証更新時に講習予備検査(認知機能検査)が必要です。
【運動の重点】
 ①夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
 7月1日から、自転車の傘さし運転や運転中の携帯電話使用等が禁止になりました。
 ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
 ③飲酒運転の根絶
 ④二輪車の交通事故防止
 市内では、二輪車(原付含む)の交通事故が多発し、4月には死亡事故も発生しました。交差点内では右折車に注意する、カーブ手前では減速する等を実践しましょう。
 町田市交通安全課 ☎724・1136、町田警察署 ☎722・0110、南大沢警察署 ☎042・653・0110

飲酒運転を見逃さない!
 mikiHOUSE JUNIOR FOOTBALL CLUB
 やさしさが走るこの街 この道路
秋の全国交通安全運動
 9月21日(祝)~9月30日(水)
 ~交通事故のない 明るく安全な街づくり~

いろいろなリボンの意味をご存じですか?
 ~健康情報特集「健康の輪を広めましょう!」
 気づきのリボン・認識のリボン~

東京タワーがピンクやブルーにライトアップされたという報道を聞いたことがある方も多いのでは? ライトアップの色や胸につけているリボンの色にもさまざまな意味があります。
 町田市では、ピンクリボンによる乳がん検診や、オレンジリングによる認知症理解などを推進しています。皆様のご理解、イベントへの参加をお願いします。

オレンジリング 認知症サポーターが手首などに着けています

10月は介護予防月間
 厚生労働省では認知症を知り、認知症の人とその家族への応援者である認知症サポーターを養成するキャンペーンを実施しています。サポーターといっても特別なことをするのはなく、認知症に理解ある人を一人でも多く増やし、認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる街を市民の手で作っていくことを目指しています。
 サポーターになるには、「認知症サポーター養成講座」を受講していただきます。
<講座の内容> (約90分)
 ・キャンペーンビデオ上映、キャラバンメイト(講師)による講話
 市内在住、在勤の方を中心とした集まりで、当日10人以上の参加者と会場が決まりましたら、出前講座を開催します。町田市シルバー人材センターで申し込みを受け付けています。ぜひご連絡下さい。
<申し込み・問合せ先>
 町田市シルバー人材センター 認知症サポーター養成講座専用 ☎090・7738・4800

ブルーサークル 世界糖尿病デーシンボルマーク

11月14日は世界糖尿病デー
 日本全国で、糖尿病が強く疑われる人は約890万人。糖尿病の可能性が否定できない人は約1,320万人。あわせて約2,210万人と推定されています。
 糖尿病は、自覚症状がなく見た目だけでは病気であるかどうかは分かりません。定期的に健康診査を受けましょう。

オレンジリボン

11月は児童虐待防止推進月間

子どもの虐待防止シンボル

児童虐待は社会全体で早急に解決すべき重要な課題となっています。「虐待かな」と思ったら迷わず連絡して下さい。
<相談・通告先>
 ・子ども家庭支援センター ☎710・1525
 ・八王子児童相談所 ☎042・624・1141
 ※夜間・休日は
 ・児童相談センター ☎03・3208・1121

イエローリボン

9月は「自殺防止! 東京キャンペーン」

自殺防止のシンボル

詳細は、東京都ホームページ(<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/>)をご覧ください。
 自殺予防のために
 ○悩みに気づき、耳を傾ける
 ○早めに専門家に相談するように促す
 ○温かく寄り添いながら、じっくりと見守る

<ピンクリボン・メニューの提供>
 10月31日に開催される健康づくりフェアで提供されます。また、市役所地下食堂でも10月13日~16日に提供します。お楽しみに!!

ピンクリボン

10月は乳がん月間

乳がんに対する理解と支援のシンボル

女性の20人に1人が一生のうちにかかると言われる乳がん。年に1度の定期検診と月に1度の自己検診を実施しましょう。
 10月の乳がん月間に、市内を乳がん検診のPRを掲示した市役所の車が走ったり、町駅周辺に横断幕も登場する予定です。ぜひ探してみてください。

<乳がん検診> 40~70歳を対象に実施しています。詳しくは、本紙10月1日号をご覧ください。
<講演会> 詳細は3面をご覧ください。